



# 相ノ木っ子だよ



令和5年度  
2月号  
上市町立  
相ノ木小学校

## 「できる・わかる」と「教える」と



子供たちは日々の学校生活を通して、授業では各教科の学習内容、また休み時間には友達との接し方、そして縦割りの活動では異学年の仲間との関わり方等、多くのことを学んでいます。先生方はその中で、少しでもたくさんの「分かった・できた」が感じられるようにと考えて教育活動を行っています。この「分かった・できた」が、子供たちの中にきちんと定着しているかを確かめるのが、「テスト」になります。話は少し逸れますが、「テスト」には大きく分けて2種類あります。一つは「入学者選抜試験」のような選抜テ

ストです。これは、全員満点だと選抜のしようがありません。ですから受験者の差が見えるような出題の仕方をします。もう一つは、小中学校のテストのように、学んだことが身に付いているか「定着確認」のためのテストです。こちらは全員満点でも構いませんし、むしろその方が望ましいタイプのテストです。

さて、学んだことがきちんと定着してほしいという願いは、子供も保護者も教員も同じです。そのために、私が子供たちによく、「学校で分かったことやできるようになったことを家の人に教えてあげるといい」ということを話します。保護者のかた向けに言うと、「学校で学んだことを、家で聞いてあげてほしい」ということです。とはいっても、1時間目は・・・、2時間目は・・・、などと聞いていると、話す方も聞く方も嫌になると思いますので、その日の一番を一つか二つぐらいでもよいと思います。これが、子供たちにとっては、机に向かってノートを広げるよりも、絶好の復習の場や説明力向上の場になります。家の方は学校の授業を見ていません。つまり、「見ていない人に伝える」という条件が加わることで、どこからどの程度、どのように話すとよいかを考える必然性が生まれます。それが、学びが定着する機会になるのです。つまり、誰かに「教える」とは、自分が「できる・わかる」ことに比べて、少し高度になります。少し考えると分かるのですが、例えば、保護者の方は全員、小学校を卒業しておられますから、子供たちが学んでいることは「分かる」はずですが、分かるから教えられるかという、それはイコールにはならないでしょう。また、跳び箱を上手に跳べる子が、跳べない子に必ず上手に教えられるかという、多分、教えられない子の方が多いと思います。それは、「できる」と「教える」ことの間、大きな差があるからでしょう。「今日初めて分かったことやできたこと」をご家庭で、ぜひ話題にさせていただけるとよいと思います。

その際、知っている大人が「それって〇〇だよ」と決めつけてしまうのではなく、「どうして分かったの？、どうしたらできるようになったの？」というような問い返しが有効です。尋ねられた子供は、自分の学びを思い出し、その過程を整理することで、思考力が高まります。その途中で、分からないことが出てきたら、すぐに辞典や地図やネットで調べると、学びの定着度も一層高まります。このような「家の人に伝える」場を、子供たちの学習効果や説明力や自己肯定感を高め、大人が子供の成長を知る、絶好の機会として大切にするとよいと思います。



# 書初大会表彰式

先日、書初大会の入賞者の表彰式を行いました。本校では給食終わり頃に、校内表彰を放送室で行い、その様子をテレビ放送で全校に流しています。誇らしげで、うれしそうな子供たちの様子を見てみると、こちらまで微笑ましく気持ちが穏やかになります。受賞された皆さん、おめでとうございます。



# スキー教室開催

2月2日（金）に、立山山麓スキー場極楽坂エリアで、3～6年生のスキー教室を実施しました。雪不足を懸念していたのですが、週初めに降った雪が残り、天気も曇りとまずつのコンディションでした。子供たちは、班ごとにインストラクターの先生の話をよく聞き、意欲的に練習していました。雪国に育つ子供たち、スキーの楽しさを全身で感じられたと思います。



# 行事予定(2月中旬～3月中旬)

- 2月 13日（火） 自主学习がんばり週間（17日まで）
- 15日（木） PTA 新旧合同幹部会
- 16日（金） けん玉大会
- 19日（月） 体力向上クラブ(1年)
- 23日（木） (祝)天皇誕生日

- 3月 4日（月） 卒業を祝う週間（8日まで）
- 6日（水） PTA 新旧合同理事会
- 8日（金） 卒業を祝う会、奉仕活動（4～6年）
- 13日（水） 卒業式予行演習、5限後放課
- 15日（金） 卒業式前日準備
- 18日（月） 卒業式
- 22日（金） 修了式

